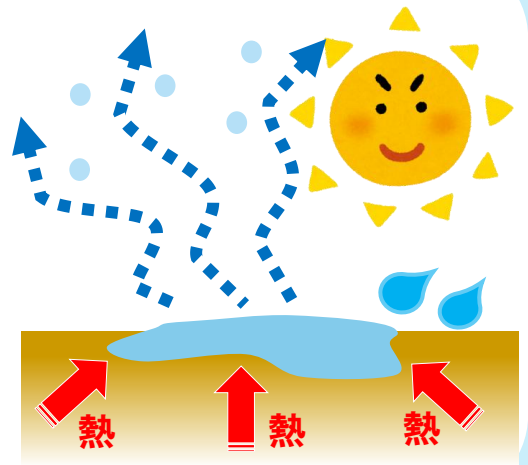


どうして打ち水で涼しくなるの？

『気化熱』が地面の熱を奪う

水は、蒸発するときに周囲の熱を吸収する特性があります。

打ち水をすると、水が地面の熱を吸収して蒸発するので、地面の温度が下がり涼しく感じます。



②打ち水が『そよ風』を呼ぶ



打ち水をした場所は、一時的に気圧が上がります。

風は気圧が高いほうから低いほうに流れていきますので、打ち水がつくる気圧差や温度差によって、爽やかな風が生まれます。

打ち水の日とは？

国が認定したNPO法人が8月1日を「打ち水の日」と定め、みんなで一斉に打ち水をして、その日の気温を下げようというプロジェクトです。

※国土交通省もH16年から実施。

みんなで打ち水をして気温を下げましょう!!



打ち水大作戦2026

詳しくはHPへ→<https://uchimizu.jp/>